



AWSOME DAY

開発者向け
はじめてのAmazon Web Services

Amazon の歴史



1994: Jeff Bezos に
より設立

amazon publishing

2005: Amazon
Publishingを開始

amazon kindle

2007: Kindle
を開始

amazon
game studios

2012: Amazon Game
Studiosを開始

Prime now

2014: Amazon
Prime Nowを開始

1995:
Amazon.com
としてオンライ
ン書店を開始



2006:
アマゾンウェブサー
ビス (AWS) を開始



2011:
Amazon
Freshを開始

amazon fresh

2013:
Amazon Art
を開始

amazon art

2015:
Amazon Home
Services & Amazon
Echo を開始

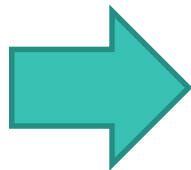


amazon echo



何故 Amazon は
クラウドを始めたのか？

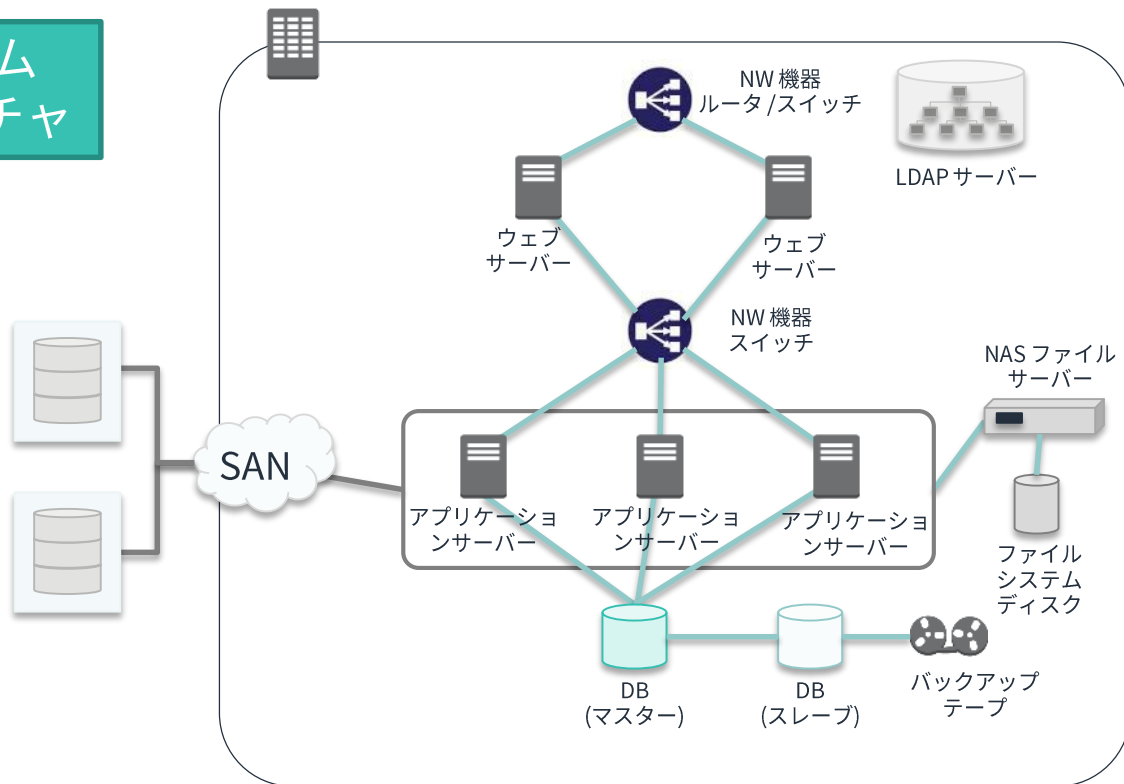
AWS の起源は、
アマゾン社内の
ビジネス課題を解決するために
生まれました



開発者視点の AWS のメリットとは？

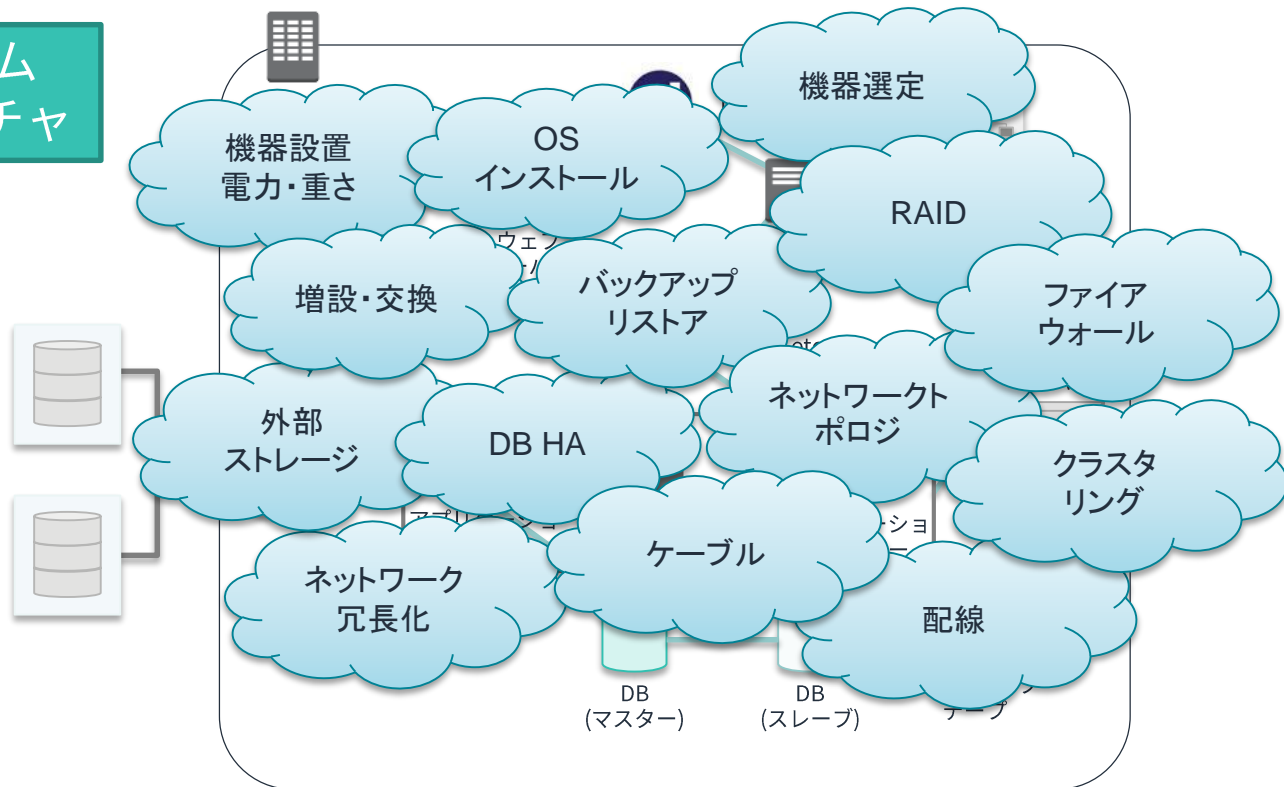
インフラストラクチャの構築は得意ですか？

よくあるWebシステムの
インフラストラクチャ



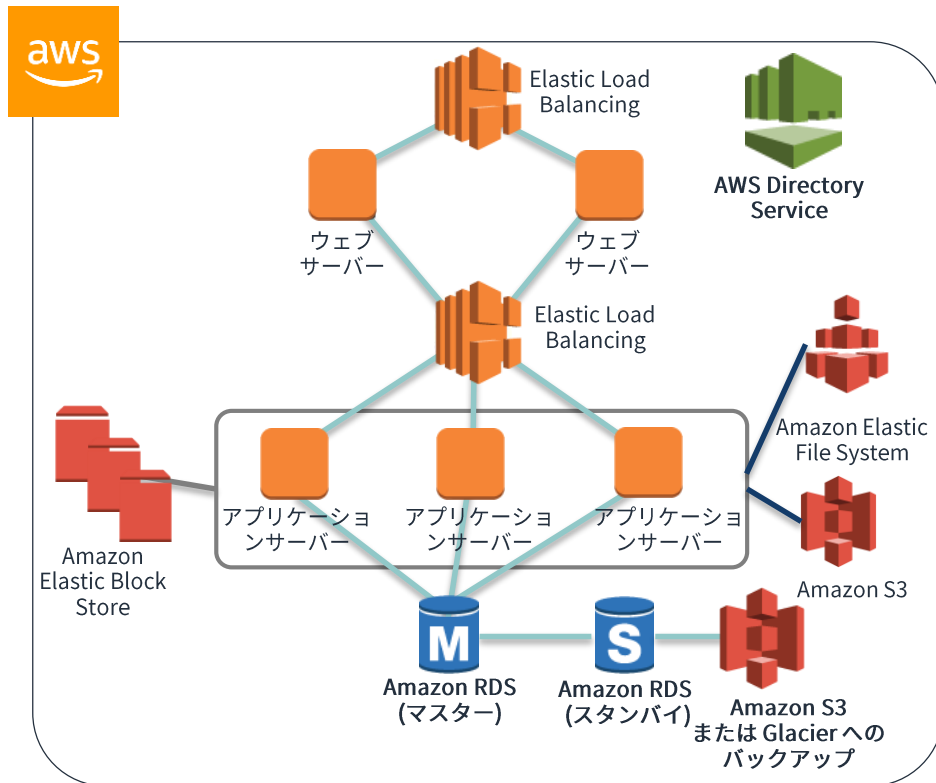
インフラストラクチャの構築は得意ですか？

よくあるWebシステムの
インフラストラクチャ



AWS 上でのインフラストラクチャの構築

AWS ではオンプレミスと同等のインフラストラクチャをAPI の呼び出しで構築可能



開発者としてのAWS のメリット

- すべてのリソースをAPI を利用して操作できる
 - ・ インフラストラクチャを物理的なものではなく、ソフトウェアとして扱える
 - ・ Web UI (マネージメントコンソール) 、コマンドラインインタフェース(AWS CLI)、各種プログラミング言語(SDKs) から利用可能
- 必要なリソースをいつでも必要な時に素早く利用できる
 - ・ すぐに利用可能。簡単に試せる。学習コストが低い。
 - ・ インフラを自分で用意できるようになり、様々な実験を開発者自身で完結して実施可能に
- さらにマネージド型のサービスを活用することで開発に専念できる
 - ・ 面倒なインストール作業、可用性・拡張性など、インフラ面の面倒を見る必要がない

まず覚えていただきたい2つのこと
セキュリティ
グローバルインフラストラクチャ

メガバンクでもクラウド採用

速報

三菱UFJがパブリッククラウド「AWS」採用、国内メガバンクで初

高槻 芳 = 日経コンピュータ

2017/01/23

日経コンピュータ

目次一覧 ➡

シェア 15

G+ 共有 6

ブックマーク 33

Pocket

ツイート

保存する

メール 印刷

三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）が、社内システムの一部をパブリッククラウドサービスのAmazon Web Services（AWS）上に刷新すると決めたことが2017年1月23日に分かった。5年で100億円規模のコストを削減するのに加えて、システム構築の期間を短縮し、フィンテック分野などで重要性が増している迅速なシステム開発を実現する。

メガバンクでもクラウド採用

ITpro EXPO 2017速報

2017/10/12 15:06

「どんなシステムもAWSで動かせないかを検討する」、MUFGの亀田氏

日川 佳三＝ライター

日経 XTECH



「勘定系ではオンプレミス環境のメインフレームに一日の長があるが、新規システムのプロジェクトを始める際には、クラウドファーストであることを義務付けた。どのようなシステムであっても、まずはアマゾンウェブサービス（AWS）の上で動かすことを第一に検討することになっている」。

<https://tech.nikkeibp.co.jp/it/atcl/column/17/101000415/101200063/>

2018/10/18 18:00

日経 xTECH EXPO 2018レポート

三菱UFJはAWS移行でコスト6～7割減、「クラウドから離れられない」

清嶋 直樹＝日経 xTECH

日経 XTECH



この記事の評価する ☒

☒ この記事は ☐ 仕事に役立った3 ☐ 人に勧めたい2 ☐ 難しい0 ☐ 易しい3

「クラウド活用にはまだ課題もあるが、クラウドから離れることはもう考えられない。クラウドファーストの大方針を掲げてシステム構築を進めるうちに活用の仕方が高度化し、課題の解決策が出るという好循環につながりつつある」――。

<https://tech.nikkeibp.co.jp/atcl/nxt/event/18/00035/101800124/>

セキュリティに関するお客様の声



“NTTドコモで構築する業務系システム等は、高い情報セキュリティ基準をクリアすることが前提。社内のセキュリティ要件をクリアできたことで今後構築するシステムにおいても同様に扱うことができる。”



“ISO/IEC 27001, PCI DSS, SOC1 など外部認証を全リージョンに渡って取得しており、FISC 安全対策基準への適合性などセキュリティ情報を積極的に公開/開示している姿勢を高く評価した。”



“会計ソフトに求められるセキュリティを考慮すると別の環境に移行する必要がある。Amazon VPC を使うことで自由なネットワーク構成を作成でき、各サービスをセキュリティグループでくくり簡単にアクセス制限ができた。”

AWS 責任共有モデル

お客様

お客様自身で
クラウドを
コントロール可能



お客様のアプリケーション・コンテンツ

ネットワーク
セキュリティ

サーバー
(OS)
セキュリティ

データ
セキュリティ

アクセス
コントロール

AWSが
クラウドの
セキュリティを
担当



AWS 基本サービス

コンピュート

ストレージ

データベース

ネットワーク

AWS
グローバル
インフラストラクチャ

アベイラビリティゾーン

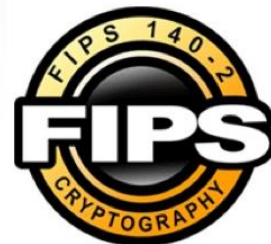
リージョン

エッジ
ロケーション

認証と認定



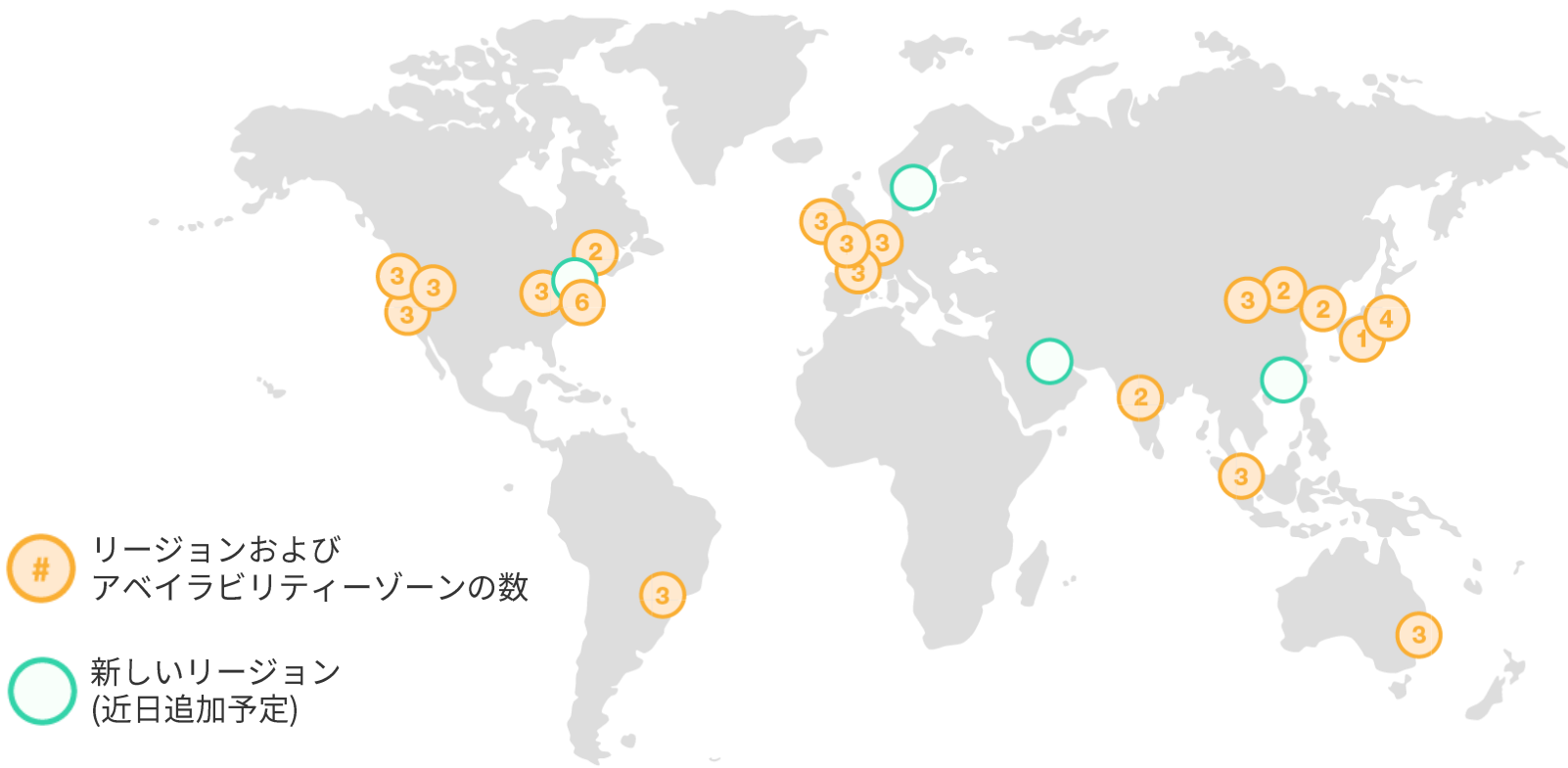
NIST



ISO 9001、ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、IRAP (オーストラリア)、
MLPS Level 3 (中国)、MTCS Tier 3 Certification (シンガポール) など

グローバルインフラストラクチャ

AWSのグローバルインフラストラクチャ



(As of May, 2018)

AWS グローバルインフラストラクチャ - AZ

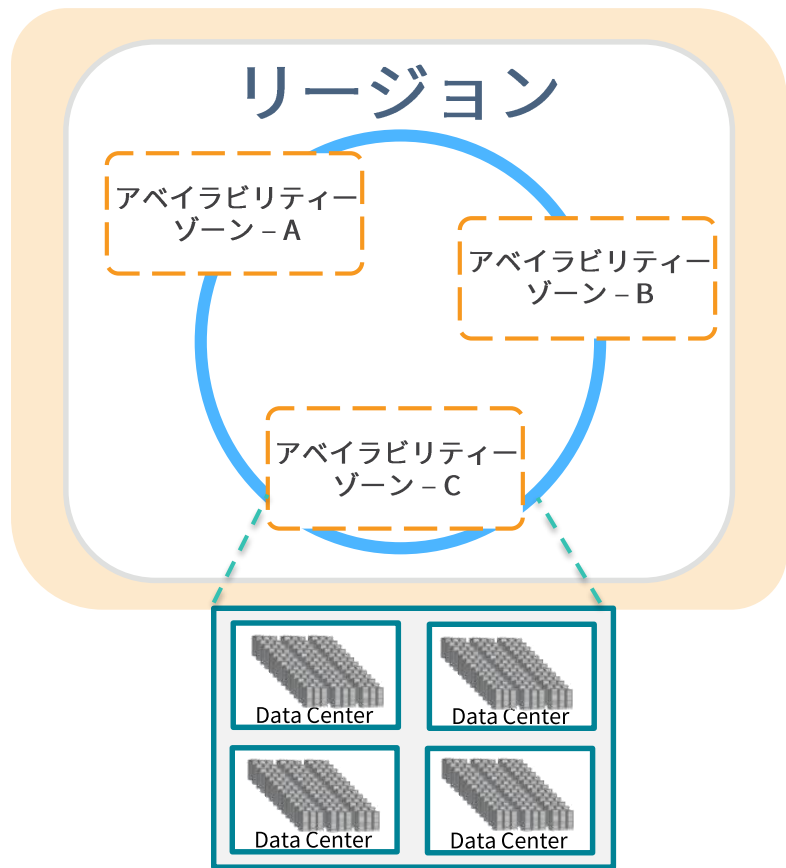
リージョン (Region)

- 地理的ロケーション
- 最低 2 つのアベイラビリティゾーン (AZ) で構成される

アベイラビリティゾーン

(AZ = Availability Zone)

- 他のAZの障害から分離
- AZ間は低遅延の高速専用線で接続
- データセンターのクラスター



災害対策および地理的な要件に対応



Osaka Local Region

2018年2月13日より利用可能に

(特定のお客さまのみに利用を限定した
ローカルリージョンを新たに開設)

Thank you